

有宵会だより

第98号
発行所
特定非営利活動法人
岳易館・有宵会
編集 広報部
松戸市新松戸1-64

九星と易断による

五月・六月の運勢

気学では巳の五月

五月五日（立夏）節入り

天道 破

4	9	2
3	5	7
8	1	6

生氣

気学では午六月

六月五日（芒種）節入り

天道

3	8	1
2	4	6
7	9	5

破

ア・生氣



桜の開花は三月下旬に

一週間も早く、上野の山では、お花見中止となるなど前代未聞のこと。

新型コロナウイルスの脅威にさらされて、三蜜のため禁足、仕事を奪われる猛威を振るっている状況に三月例会は中断。

コロナ病と経済疲弊に苛むことでしょう。

四月七日・緊急事態宣言（特別措置法）で、大型連休が終わる五月六日までの休日。コロナ感染は五月において、まだまだ勢いは鎮まらない状況が続いていく心配です。

一月二十四日に新型コロナウィルスの日本では風山漸の初六で、直ぐに騒がず漸進なので九三の四月注意ぐらいでしたが世界では地風升の六五で升卦の勢い押される意。

さて五月のコロナ禍はどうなるか不安定ですが山風蠱の六四で、段々と蠱敗が深く浸潤するので四月超の蔓延の兆しです。

一白水星の人の運勢

五月筮―山地剥の六三
六月筮―天風姤の九五

五月は先が見えず動かずに待つ。家業家事に励み無理をしない。中旬に朗報あり、家族の情愛深いが失言あり。財布固守。普段慢性の症、疲労多し。

六月はわが身我が家を守る。下旬驚くが無事、正義でも頭を打たれたり噂話用心。能力や技術力評価、商談見込みへ。風邪に倦怠感、休養第一に。

二黒土星の人の運勢

五月筮―地天泰の九二
六月筮―風山漸の上九

五月は毎日を平凡に無事安心。現状に満足、家族団欒の喜びあり、仕事は意見を合わせる。身内や旧友大切に、売買待つ。胃の消化と歯の手当。

六月は本業私事に継続、方針を変えず貫ぬく。実際は柔軟に敵を作らず電話メールは多言控える。家計の予算出費が多し。

三碧木星の人の運勢

五月筮―沢山咸の上六
六月筮―沢風大過の九三

五月は従来の生活態度が安全、平穏さを心掛ける。仕事で意見対立しき妥協、家庭は地味にいく三人寄れば文殊の知恵を用いる。健康は安全第一。

六月は公私に荷が重い無理をしない。仕事は急がず着手。家事は改善実施で良い。愛憎の念に惑わず冷静に。交友深入りせず。咳熱や血圧注意。

四緑木星の人の運勢

五月筮―山風蠱の六五
六月筮―天水訟の上九

五月は用事が多いが順次処理。巽宮でも運氣に伸びがない。公私が入り交ざるので冷静に。中旬の話しは慎重に。金運堅実。手足腰、通しの具合。

六月は多様で気遣いが続く、必要な用件から処理。仕事は停滞気味、家庭は女子力を持つ。親子の絆が深い。内緒金が出やすい。胃腸肝の点検。

五黄土星の人の運勢

五月筮―水火既済の九三
六月筮―火風鼎の九三

六白金星の人の運勢

五月筮―兌為沢の六三
六月筮―雷山小過の九三

五月は何事にも無難に変化求めず。中旬に活気あり、対人関係は協調方針で、業務の改善案は効果的。諸事に節約のこと。体調は平穏、体力づくり。

六月は何かと気忙しく動く。土台を固め得意の技を示す。体験を上手に生かす知恵。人に花を持たせると吉。金運良好。体調良いので気力充実。

七赤金星の人の運勢

五月筮―山沢損の六四
六月筮―天山遯の上九

五月は公私に自重運。調子に乗らず背伸びをしない。仕事は協同で助け合う。軽い誤解と口難あり。生活は旧習慣守る。

八白土星の人の運勢

五月筮―山天大畜の上九
六月筮―水沢節の九二

五月は安定を求める。知識と経験を生かす好機自己過信を控える。目下後輩を支える、家業や専門分野で能力を表わす。畜積吉。手足腰と養生。

九紫火星の人の運勢

五月筮―地水師の上六
六月筮―雷山小過の上六

五月は予定通り進めて早目に処理。人脈を大事に生かす。書類管理と提出、内密談や決断させて無事。誰にでも柔軟に。足腰、倦怠、気力増進を。

六月は予定通り進めて早目に処理。人脈を大事に生かす。書類管理と提出、内密談や決断させて無事。誰にでも柔軟に。足腰、倦怠、気力増進を。

一月有宵会報告

焦らず待つ。雑費多し、冷え風邪、神経、足もと。福田 有宵

山本 悠里帆

令和二年一月二十五日(土) 今年は神田センタービルディング6Fにおいて、新年一月の有宵会が開催されました。司会は佐藤宗眩先生です。福田先生の新年のご挨拶に続き、菅原有恒先生からお話をいただきました。



菅原有恒先生

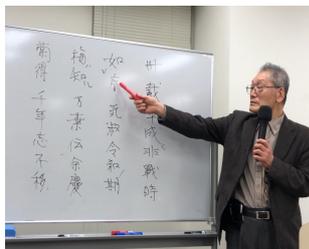
天皇陛下が五月に即位され、元号が変わりました。これを祝賀いたしまして、漢詩連盟の皆さんに漢詩を読んでもらい、「新元号令和慶祝詩集」を作成いたしました。ちょうど百首になりました。私の作った漢詩をここに披露したいと思います。慶賀令和元年

III載平成非戦時
如春氣淑令和期
梅知万葉伝餘慶
菊得千年志不移

令和元年を慶賀す
三十載平成非戦の時
春の如く氣は淑(よき)
たり令和の期
梅は知る万葉伝に余慶ありと

菊は得たり千年志の移らざるを

全日本漢詩連盟 菅原有恒



福田有宵先生

令和二年の運氣全般についてのお話

気学は、十二支と九星を使って自運と他運(他からの影響)との関係からの動きと変化を見ていく・知る。気学は立春がスタート。易は冬至・天文は春分。子年とは

了(おわり)で
一(はじめ)

・今年はどうなるか?

五行の中の干支で判断していく。||どのような心配をするか、体質は?どう過ごしていくか?

新型コロナウイルスが猛威を振るっている。

○どういう状況か?今後の推移は?
○どういう流行の仕方か

星の性情として、三碧は流行性のもので、スピードがあるものが出る。子年で、三碧と出会う。十二支は地、九星は人・社会を表す。こういうところも考慮に入れる。

復習

*運氣の判断においては
*運気の巡りはどの位の期間か?
*運気がある・変化がある。どういふ風に変化があるか?その人個人に的を絞る、動きを見る。動きを考える。

①同会・被同会

②遁甲法
③五行の相生・相剋法

④对冲法

相手方に目が行く・気にする・関係が深い・象意が表われる。

⑤傾斜法

個人の問題として取り入れる。

*先ず、全体運を傾斜宮で捉える。

*運勢は、盛衰・消長・吉凶・調、不調

(ここに年盤)

令和二年

七赤金星が中宮。

一白水星

良宮に同会。土剋水・どのように剋されるのか?

三碧木星が被同会。

四緑木星と对冲。

良宮||住まい・生活。転職など変化あり。仕事とプライベートを分けて考える。

食べることに、片寄りが出る||体の変化。

去年は落ち着いていたが、今年は、心に思っていることをしたい、また方針が出てくる。仕事と家庭を分けて考えること。周りの運(必ず複数)が影響してくる。外からは新たな視点が入ってくる。若者の意見を入れる。

が、アレルギーのある人は、消化器系に不調が出やすい。肩・腰・階段に注意

二黒土星

離宮に同会。四緑木星が被同会。

三碧木星と对冲。

歳破が付く||吉凶半々でタイミングを得ていない、どう合わせていくか。

三年周期がベースとしてある。三々四年前の努力があるかどうか。努力をしてきたことは実を結び(離宮同会で、人がた立ってくれる)が、歳破が付いているので、注意点として付け加える必要がある。原因があり、結果がある。そこから対処策を考える。

その人の心はどうあるか?どうするか?
九紫はキチンとするところ、複数で吟味すること。しかし二黒は納得しない。(歳破)

書類・印鑑は十分に吟味すること。勘違いをしやすいため、一回の見直しではダメ、繰り返しての注意が必要。ここはスッキリしなければいけないところ。

健康は、心臓・血圧・

健康は、心臓・血圧・

血行で、仕事のオーバーワークを注意しよう。歳破付きで、薬が合わないということも。視力・目・歯注意で外からの影響はどうか。被同会四緑の象意は情報・流行||はやり目。被同会四緑の先は六白(レンズ)の被同会。

三碧木星

坎宮に同会。五黄土星が被同会。

二黒土星と对冲。

慎重にしよう。運が寄って来ない。自分で閉じこもるところ。伸びるための準備期間。来年再来年に運が来る。

上を見ないで下を見ようという年。

三碧は前向きに行きたい。仕事は几帳面である。ここは不満をプラスに変える必要がある。今年は十分研究をする時間が与えられる。上の者の助けがあり、三年目に芽が出る。しかし年配者は、早め早めに動くこと。

親子・家族の愛情が必要の年。ささやかな人情。五黄が被同会なので、同じ問題を繰り返すが、流れに合わせてと良運となる。逆らうと運が合わ

ないということに。親和力があり、家族の面倒をみる・ためになる。健康は、足腰に注意。焦らず、小さく部分的に治していく。少々長くかかる。病いは、坎宮・中宮の時は多種多様なものが出る。



四緑木星

坤宮に同会

六白金星が被同会

一白水星と対沖

堅実に行く。背伸びをしない。自分の能力をわきまえる時。

次の年の課題を考える。他からの運を待つところ。家庭・家族を思う。家族・旧知の知人などの協力を受けるようにすること。繊細さが必要。

健康は、元気であるところⅡ食べる・寝る・排泄する。良く食べられるところⅡよく食べた方がよい。

素直になると、体が良くなる。

五黄土星

震宮に同会

七赤金星が被同会

九紫火星(ア)と対沖

独立・自立のところに来た。やりたければ、やってみたら良い。

被同会が七赤金星なので、資金が十分ではないが、やり練りができるか？何とかなるだろう、と気楽で抜けている所が出やすいので注意が必要。

独立したいのなら、時間をかけて準備してきたはず。何年前から努力をしてきたか。実力が必要。汗を流すが、まだ結果は出せないところ。(お金にはならない) 運は前向きに捉えること。積極姿勢。

坤宮から震宮へ飛び、新しい条件が加わってくる。

*目の前のものにチャレンジすること。

*年配者は、今年と来年の二年がかりでやること。

*勉強をするところⅡ七赤が被同会で気分が良い。

健康は、気が先で体には後から出る。ストレスを溜めてしまい、次に体

に出る。

木剋土で、長引きやすい。アレルギー・アトピー・胆嚢・のど・鼻炎。ふくらはぎ・顔の痙攣。

六白金星

巽宮に同会

八白土星が被同会

定位対沖

巽宮にきて、人付き合いが良くなる。人の出入りが多い。

準備をする所(坎宮)から真直ぐに来ると、信用が付く。(巽宮)

巽宮に入ったらずところなので、あまり残らない。お祝い事が多い。

(離・巽Ⅱ祝儀、坤・艮・中宮Ⅱ不祝儀)

六白の人は、自分の仕事を熱心にする。今年は、八白の実績をもって出世する。

健康は、風邪を引きやすい。咳が出やすい。(どんなセキか？Ⅱ傾斜でみる) 大腸・小腸・気管支・婦人科系に注意。

六白の人は骨折りが多い傾向がある。

七赤金星

中宮に同会

九紫火星(ア)が被同会 今年の中宮年、中央にい

る。周りから見られている。俗に八方塞がりとも。しかし八方に出られるとも考えられる。また八方から手を差し伸べてくれている。陰陽の始まり・境目のところ。

運気は頂上に入り、前年から続く強いところ。三年位前(震宮の時)から見ていき、前年が良かった今年も良い(前半三分の一)。変化運のところであり、だんだん下り坂の傾向。そのため良い運氣ならば、継続できるように現状維持の努力をする。

九紫火星の暗剣殺付き被同会なので、人との付き合いでは、口のききかたに気を付ける。対人関係が思うより複雑な時。問題が出ると、こじれやすい傾向が出る。また散財・書類に注意。

変化運なので、目標を持って生活すること。五黄の変化は、慢性的・数年前からのもの・くすぶるといった要素があり、用事や相談事は頼ってくる。長引くという傾向がある。

健康は、内臓全体が中宮にあるとみる。早めに治療をしないと、慢性化しやすい時。心臓・肺・消

化不良・便秘・腫瘍しゅよう壊疽くわいそ

など。梗塞性のものは良宮・中宮で倒れると厳しい。再発は、1・4・7・10の線路で出る。



八白土星

乾宮に同会

一白水星が被同会

六白金星と対沖

忙しく、活気がある時。外に出っ放しで、奉仕・ボランティアをする。

八白の人は能力を持っているので、頼まれる。助手をおいて、過労にならないように。

仕事に打ち込み、役員になるなど上に立ち、それだけの報酬を与えられる。一白の個性を持って出世する。

*巽宮・離宮・乾宮に来ると、出世・要職を与えられる時。先祖・夫側の付き合い

が出てくる。

健康は、頭が痛い・重い。肺・気管支。一白が被同会で、カビや中毒性のものでまた冷えから喉・肺に注意。

*良宮・中宮・乾宮に来ると、過労になりやすい。

九紫火星

兌宮に同会(暗剣殺付)

二黒土星(歳破付)が被同会

五黄土星と対沖 今年、目いっぱい働かないこと。手を抜く7・8分で仕事をする。それで間に合う。

兌宮に同会し、交際が盛んになるが、⑦付きでお金が出る、また金銭問題に注意が必要。投資・相場・株の話が出てくる。サギには3月頃が要注意。失言・舌禍問題注意。

健康は、呼吸の方。体質や年齢によっては息切れ。食道などがつまりやすいのでむせる。歯の被せたものがとれる。

九紫の人はお金がかかる。医者を十分に吟味すること。被同会の二黒に⑩が付いているので、良いアドバイスが無い(古い方法)・ピンとこない・症状に合わないなどがあ

山本悠里帆
初参りと初めての事務局
のお手伝い

金原太郎

今年、2月に入ってからあまりバツとしない出来事がありました。長野の軽井沢でカーリング体験をする機会があったのですが、体験中に滑ってしまい氷上に顔を強打するという目にあっしまいました。幸いにも



目の上に大きなタンコブをつくるくらいで軽傷で終わったことが何よりでした。そういう理由で、身体の健康、健全さの大切さを痛感し、今年の願いは「身体健全」で初参りに参加いたしました。初参りの当日は晴れており空気も澄んでいるためか朝からとっても爽やかでした。検見川神社に向かう際、宇都宮線、総武線と乗り換えましたが、どの路線からも電車の車

窓から富士山がくつきりと見えました。縁起がいいなと思っていると、津田沼で乗り換えた電車の車両に福田先生が座られていました。幸先のよい社まで一緒させて頂きました。集合時間より30分ほど早く駅に着き、まずは本殿にご挨拶ということ、お参りしながらまつたりとしていると事務局のお手伝いの先生が誘導の旗をもって京成検見川駅へ向かっているのではないですか。そこで改めて事務局のお手伝いを頼まれていたこと思い出しました。既に集合場所の客殿に事務局メンバーは大方の準備を終わられて、さらに神社の方々の打合せを進めている最中でした。集合時間の前に準備の半分は終わっており、事務局メンバーの先生方のお初参りを成功させようという熱い思いが感じられました。

確認作業がありました。初参りには何度か参加してますが、お初参りの始まりから終わるまでの数時間の何倍も準備期間があるのだと驚かされました。イベントを成功させるのは段取り9割と会社の先輩に教えられた記憶があったこともあり、事前に十分段取り表を読み準備したはずなのですが、受付担当の私は名簿の確認から御朱印帳のお預かり、参加者からの質問などスムーズに対応できずご迷惑をおかけすることのほうが多かったようです。私自身今回お手伝いのほんの一部しかお役に立てませんでしたが（むしろお役に立てなかつたかも）、事務局の皆様方の下準備にかける労力は並々ならぬものがあつたかと思えます。このお手伝いを通じて事務局の皆さんのご尽力が本場にありがたいと感じました。

さて、初参りですが検見川神社様の手厚いおもてなしで、フルコースといたうくらい素晴らしい会だったと思います。天気は快晴で、拝殿での参拝も、格衣を羽織り、拝殿にて神前神楽を拝見、その後、玉串拝礼をするという一連の流れは私にとつては初めの経験でした。参拝時には、参加者100名以上にも係わらず一人ひとりの名前前と願意を読み上げて下さいました（私の身体健全の願意もしつかり聞き取れました）。昼食会では検見川神社様より神社の由来のお話も聞きました。お話の中ではご縁のお話も聞きました。私の義母も検見川神社様にお世話になっており、義母の知り合いが検見川神社様に高さ1メートル60-70センチはあるかと思う木彫りの大黒様を寄進されたご縁があります（気づいた方もいらしゃるかもしれませんが、拝殿の入り口から入ったすぐのところにあります）。こういうご縁があると、今回の検見川神社様へのお初参りのお手伝いも何かご縁と深く感じることがありました。また、初参りでは正式参拝をさせて頂いたのですが、拝殿に上がる際の歩みや神の奉納の仕方など正式が作法が十分でなかったとつくづく反省いたしました。福田先生の作法を勉強しな

さい、という言葉を毎度のように思い出します。周易、他の占法だけでなく神事、仏事の勉強も今後はしてきたいと思えます。最後となりますが、ま



だ、コロナウイルスの影響が続いているかと思えます。はやくコロナウイルスが鳴りを潜め、皆様健康でお過ごしできるようにお祈り申し上げます。

金原 太郎
令和二年・有宵会初参り
ー検見川神社参拝

八川 林加

去る二月十八日、千葉の検見川神社様で令和二年（二〇二〇年庚子七赤中宮）の有宵会初参りを行いました。近年では、初参りへのご参加者が百名を超える年が続いており、今回も百二十六名の

方から御祈願のお申し込みを頂き、午後の直会では、百名の方にご参加頂きました。検見川神社は、複数回継続してお参りが更なるご利益に繋がるとのです。今回ご参加された方もこれからご参拝される方も、ぜひ次にご縁があるタイミングでご参拝を頂ければと思えます。

会としては十九年ぶり

新年の初参りでは、神社のご紹介が多くなりがちですが、お寺へのお参りも数多く行っております。一月では、有宵会の奉仕鑑定会で毎年ご縁を頂いている岩月大師様（埼玉県岩槻市）を始め、東京都台東区の龍嶋山本覚寺（日限祖師）様など、福田先生のお教室主催で実施しているものもあります。人と人、神仏とのご縁から新たな希望へと繋げていく、願いが込められたお参りであり、会員の方はもとより一般の方にもご参加を頂いています。有宵会の初参りは、福田有宵先生もしくは会場で、前年からのご縁をきっかけとして翌年の初参りへと繋げて参りました。令和二年の初参りが検見

川神社様と決まったのは、前年の令和元年（二〇一九年己亥八白中宮）初冬の頃でした。福田先生と現在の宮司 宮間尊士様、禰宜 宮間望様とのご縁により実現したものです。前事務局長の伊藤璃香先生が作成された過去の記録によれば、有宵会としての参拝は平成十三年（二〇〇一年辛巳八白中宮）以来、一九年ぶりとなります（「有宵会設立二〇周年記念誌」参考）。

検見川神社様は、御祭神として、素盞鳴尊 宇迦之御魂神 伊弉冉尊の三柱の神を総称した神祇三社検見川大明神がお祀りされており、八方除祈願や御神水でも有名です。有宵会の先生方の中には、長年継続的にご参拝をされている方も大勢おられます。

運は人が運んでくる

ご縁という不思議な繋がりや強く感じたのは、初参りの二週間前の立春の日でした。有宵会の会員でもあり、山形の出羽三山で神子（みこ）修行をされた湯川雪路様、安齋美佐様が、明治記念館で開催の「第四十二回大江戸山伏勧進大祈願祭」で神子としてご奉仕されるという事で、その御姿を拝見するために出かけました。当日は、福田有宵先生、一の宮巡拝会の塩原輝昭先生、有宵会誌友会でもお世話になっていらっしゃる佐々木宏様、雑誌「WAGO」編集長の竹森良一様もご出席されていました。その会場で、偶然にも今回の初参り企画で全体運営を支えて下さる事になる、検見川神社奉賽部長 大竹久雄様と初対面を果たしたのです。大竹様は、塩原先生とは古くからのご友人との事で、三重の導きの神が宿る「椿大神社」に奉職なさっていた頃からのご縁であるようですが、この日が数年ぶりの再会になったとの事で、偶然が重なる出合いがありました。これがきっかけとなり、二週間後の初参り企画で様々な分野の方が参画して下さる事に繋がります。誌友会の佐々木宏様、雑誌「WAGO」編集長の竹森良一様からは、今年発行の「神社年鑑」に有宵会のご紹介頁を頂ける旨のお話を頂き、検見川神社様と共に有宵会初参りの記念写真等が掲載される運びとなりました。

- ・ 当日は、宮司 宮間尊士様、禰宜 宮間望様、奉賽部長 大竹久雄様を中心に、検見川神社のご神職様が総出でご奉仕して下さい、次の式次第が実現しました。また、午後の直会では、検見川神社様よりたくさんのお菓子、御神酒、甘酒、各種飲料を賜り、参加者から喜びの声が上がりました。
- ・ 全員が「格衣」を着け手水のち参進
- ・ 拝殿前にて記念撮影
- ・ 修祓
- ・ 斎主祝詞奏上
- ・ 神前神楽 鶏鳴奉奏
- ・ 参列者全員が玉串拝礼
- ・ 【午後の部・直会】
- ・ 【開式の辞】
- ・ 副理事長 佐藤宗眩先生
- ・ 検見川神社宮司ご挨拶 宮間尊士様
- ・ 有宵会理事長ご挨拶 福田有宵先生
- ・ 検見川神社講話 奉賽部長 大竹久雄様
- ・ 乾杯
- ・ 一の宮巡拝会代表世話人 塩原輝昭様
- ・ 閉式の辞 書道家 清真会副理事長 日中友好自詠詩書交流会

常任総務 菅原有恒様 午後の直会では、各界を代表する方々にお話を頂きました（紙面の都合上、全てのお話をご紹介出来ない事をご容赦下さい）。佐藤宗眩先生からは「八六九年に全国に流行した疫病を鎮めるためにその地に祀られた検見川神社」の由緒をご紹介頂くと共に、二月の中旬は新型コロナウイルスの脅威がまだよく掴めない状況下でもあった事から「この参拝は大変有意義であり、意味をもつ」とのお話で乾杯のご発声を頂きました。宮司宮間尊士様からは「神は人の敬によりて威を増し、人は神の徳によりて運を添ふ」という、御成敗式目の一節を例にお話しを頂き、信じてお参りをする事で神様のご加護もさらに増すというお話をわかりやすくご説明頂きました。御成敗式目のお話は、私自身がお参りを始めた頃に意識した言葉でもあり、感慨深くお聞きしておりました。また、奉賽部長の大竹久雄様からは、検見川神社のご由緒を記した資料を複数ご用意頂き、御祭神の素盞鳴尊が暦に関係する

神様である事や、古事記の国生み神話にある「修理固成」のお話から「ひとつの物ごとを生み育てていくには、幾度も修正の工程を経る必要があり、またその繰り返しの先に歴史なるよいものが作られていく」という、神話から現代まで一定の法則の元に繋がっているというお話がありました。最後に、事務局の一員として長時間のご奉仕を自ら志願して下さいました会員の方々、様々な制限があり考慮不足の中でも臨機応変に対応してくださいましたご参加者の皆様。おひとり、おひとりのご協力によって事故なく無事に活動を行う事が出来ました。この場をお借りして心から御礼申し上げます。

父母憲章 八川 林加

- 一、父母はその子供のおのずからなる敬愛の的である事を本義とする。
- 二、家庭は人間教育の素地である。子供の正しい徳性と良い習慣を養うことが、学校に入れる前の大切な問題である。
- 三、父母はその子供の為に、学校に限らず、良き師・良き友を掴んで、これに就けることを心掛けねばならぬ。
- 四、父母は随時祖宗の祭りをを行い、子供に永遠の生命に参ずることを知らせる心掛けが大切である。
- 五、父母は物質的・功利的な欲望や成功の話に過度の関心を示さず、親戚交友の陰口を慎み、淡々として、専ら平和と勤勉の家風を作らなければならぬ。
- 六、父母は子供の持つ諸種の能力に注意し、特にその隠れた特質を発見し、啓発することに努めねばならぬ。
- 七、人生万事、喜怒哀楽の中に存する。父母は常に家庭に在って最も感情の陶冶を重んぜねばならぬ。



器量と辞令

「あれは器量人だ」という言葉が通俗用語になっ

ておりますが、これは人間の具体的存在を器という字で表現しているもので、人間の大きさ、深さを量る言葉として用いている言葉であります。

あれは頭が良い、よく出来る。けれども人を容れない。人を用いる量がない。深みがないなどと言われる人があります。度量、器量ということが良く考えられなければなりません。

もう一つの人物の応対辞令という言葉あります。が、応対というのは、いろいろな問題に応じてきびきびと処理して行く事であり、辞令とは事に対して自分の考えを的確に表現して行く事です。

この応対辞令は大変大事でありますが、俄か仕立てではどうにもなりません。結局平素の修行に俟つほかないのであります。

家庭教育

いままです学校教育こそが教育だと思っておったが、しかしこの頃はヨーロッパでもアメリカでも教育は学校がやると思っ

ゆる教育家・教育学者は「教育は家庭教育である。学校教育は家庭教育でできたものを受けたって、これに手入れするところだ」と考えている。日本人のように、教育と言えば、子供をどんな手段を使っても学校へ入れるんだと考えているのは、文

【NPO通信】

替助会費として次の方々からご寄付を頂戴いたしました。厚く御礼申し上げます。

《一般》塩原輝昭様（一の宮巡拝会代表世話人）

《会員》（敬称略・順不同）

牧野有峰・美園環希・天川鼓悠・阿部治

◆行事・活動報告
●有宵会・新春初参り

令和二年二月十八日（火）
検見川神社様（千葉市花見川区検見川町一一一）

御祈願申込者 一二六名
懇親会参加者 一〇〇名

当日は、晴天にも恵まれ、恒例の有宵会初参りを開催。検見川神社様のご神

職様にも総出で御祈願や

特別な直会を頂くなど、大変思い出深いお参りとなりました。また、実行にあたり、次の方々に多くのご協力を頂きました。この場をお借りして御礼申し上げます。

《検見川神社様》
宮司 宮間尊士様・禰宜 宮間望様・奉賽部長 大竹久雄様・ご神職様御一同様

《会員》（敬称略・順不同）
福田有倭・岩崎杏泉・金原玄周・清水奏琉・手塚唯次・dairint・中谷仁美・小松輝子・佐藤純子・天川鼓悠・白土愛眞・阿部治・湯川雪路・太田正子・山下千津子・甲本安紀子・金子智佳子

三月に開催を予定していた無料鑑定会は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、主催側にて中止措置が取られました。

【中止】三月八日（日）
江東区総合区民センター「ら・かん祭り」無料鑑定会

【中止】三月二十八日（土）JR松戸駅前「みらいフェスタ二〇二〇」無料鑑定会

その他、三月から延期と

なり四月二十五日に予定していた有宵会例会に關しても、新型コロナウイルス感染拡大防止として、四月七日に七都府県（東京・神奈川・埼玉・千葉・大阪・兵庫・福岡）に緊急事態宣言が発令された事に伴い、中止となりました。

■総会・記念式典予告

七月度の総会は、有宵会がNPO法人設立十周年と会報誌「有宵会だより」発行一〇〇号記念として、日比谷松本楼での記念式典を七月に行う予定でございます

が、昨今の新型コロナウイルス問題で先のように変更致しました。

総会

・日時／七月二十五日（土）午後十三時十五分

記念式典

の開催につきましては九月を予定しております

が、また正式にご連絡致します。

【募集】

一、有宵会記念式典に向けた、記念文集の原稿を募集します。

（テーマ）
「易を志すことになった

経緯」「易や占術でどのような活動を積み上げてきたか」

《文字数》八〇〇字内。
《ベ切》七月二十五日（土）頃までに原稿を入稿。

《申込方法》ご希望者は、担当者宛てに事前に申し込みの上、期限までに原稿をお寄せください。

※ご応募者の方に、原稿の入稿方法をご案内します。

《担当》福田有宵先生・八川林加

二、例会で占例や個人の活動・研究内容を発表して下さる方を募集しております。

※ご協力くださる方は、福田有宵先生・佐藤宗眩先生・八川林加までご連絡ください。

【訃報】
木島政之助様が、去る二月九日に九四歳で逝去されました。ご生前のご功績を偲び、心からご冥福をお祈り申し上げます

【事務局だより】
次回の定期例会
日時／令和二年五月三十日（土）十三時から十七時まで
会場／足立区勤労福祉会館（綾瀬ブルミエ）・二階第二洋室
講演／福田有宵先生他
※政府や自治体からの要請により、例会の開催日が変更となる場合は、有宵会のホームページ等でもお知らせ致します。

■一月度（前回）例会参加者
六十八名の方がご参加されました。一月度は、神田の会議室で開催致しました。当日は、次の方々に会場までの誘導および会場設置等のご協力を頂いた事により、予定通りの開催が出来ました。感謝申し上げます。

事務局協力者（敬称略・順不同）福田有倭・岩崎杏泉・金原玄周・清水奏琉・手塚唯次・dairint・中谷仁美・小松輝子・天川鼓悠・白土愛眞・阿部治
■新型コロナウイルスの脅威が毎日のように報じられ不安な日々ですが、皆様のご無事と感染の終息を心より願っております。